

実施計画事業名		観光施設運営事業			評価対象年度	平成 23 年度		
評価担当部署		建設産業部 観光交流課			課長(主幹)名	齊藤 正良		
総合計画体系	分野	5	産業振興					
	政策	4	地域資源の再発見・世界への発信					
	施策	1	観光を核とした産業振興を図ります					
	関連施策							
現状と課題	美しい景色等を楽しんでもらうため、観光部署としては浜勇知展望休憩施設をはじめ3つの施設を運営しているが、観光客が訪れる施設としては、これらの施設のほか、開基百年記念塔、水族館、科学館等があり、いずれも教育担当部署で所管し管理運営を行っている。							
目的	観光施設を適切に維持・管理することにより、観光地としての魅力を高め、観光客の増加を図る							
5ヶ年展開の	1) 稚内市展望休憩施設「こうほねの家」の維持、管理を行なう 2) 稚内市大沼野鳥観察館「大沼バードハウス」の維持、管理、白鳥給餌を行なう 3) 宗谷丘陵展望休憩施設「ゲストハウスアルメリア」の維持、管理を行なう 4) 開基百年記念塔、ノシャップ寒流水族館、青少年科学館等を観光資源として捉え、担当部署と連携を図りながら、その魅力の増進を図っていく。							
成果指標	名称		単位			22年度	23年度	25年度
	観光客入込数		人		目標	647,000	653,000	665,000
	説明	本市を訪れた観光客の入込数（延べ）			実績	501,200	465,600	
活動指標	名称		単位			22年度	23年度	25年度
	浜勇知展望休憩施設利用者数		人		目標	7,500	7,500	7,500
	宗谷丘陵展望休憩施設利用者数		人		目標	14,000	14,000	14,000
	説明	年間延べ利用者数			実績	11,185	9,062	
	大沼野鳥観察館利用者数		人		目標	13,000	13,000	13,000
	説明	年間延べ利用者数			実績	20,866	10,962	
	開基百年記念塔(北方記念館)入館者数		人		目標	20,000	20,000	20,000
	説明	年間延べ入館者数（教育総務課で把握）			実績	19,887	17,447	
	青少年科学館入館者数		人		目標	15,000	15,000	15,000
	ノシャップ寒流水族館入館者数		人		目標	35,000	35,000	35,000
説明	各年間延べ入館者数			実績	17,582	17,894		
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)	千円	17,312	19,371	18,455	平成24年度予算には、浜勇知、大沼、宗谷丘陵のほか、港ギャラリー(当初:新規)が含まれる。		
	国庫支出金	千円	0	0	0			
	道支出金	千円	0	0	0			
	起債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	90	98			
	一般財源	千円	17,312	19,281	18,357			
	この事業にかかる職員数	人/年	0.47	0.37	0.37			
人件費(B)	千円	3,192	2,573	2,573				
計(A+B)	千円	20,504	21,944	21,028				
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 東日本大震災の影響により、4~6月まで対前年を大きく下回ったのが最大の要因。8月からは対前年程度に持ち直した。 今年度は外的要因による影響が大きかった。とくに大沼自然観察館では鳥インフルエンザにより「白鳥まつり」が中止となった。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 現在のところ問題はないが、施設が老朽化してきており、観光施設としての補修をして行く必要がある。またソフト事業として野鳥観察会など開催しているが、さらなる展開が必要である。
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 野鳥観察館においては、指定管理者が自主事業として野鳥観察会、野花の観察会など開催しているが、もっとPRをして参加者の増を図って行く。こうほねの家においては、地域の自然愛護団体と清掃活動や貴重植物の保護活動を展開しているが、さらなる活動推進をしていく。
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし
	<A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 震災の影響のため減少傾向となったが、観光客増加のため堅実に取り組む必要がある。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--